

連盟ニュース

282

神奈川 7

2008.7.8

『新緑と残雪の裏剣』（2008年6月1日、富山県・黒部峡谷にて） 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

常任理事会議事録	2
夏山を楽しむための注意文2008!	県連遭難対策部 3
2008年度雪崩ピーコン机上及び野外実習の要項2	県連副会長 中山建夫 4
2008登山の基礎講習会 1日コース 9 / 27	県連遭難対策部 7
登山時報第1回文化講演会 8 / 27	全国連盟メディア局 6
ビバーク講習会6/21報告	11
6/1救助隊主催セルフレスキュー講習の受講者レポート	9
ハイキング委員会活動報告	10
予定お知らせコーナー	8
第9回ハイキングリーダー学校全国集会案内	
第14回全国登山者自然保護集会/クライミングコンペのお知らせ	
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定	12
事務局長会議報告	8
自然保護委員会報告/クリーンハイク実行委員会	13
登山時報紹介 / 県連のスケジュール	14



神奈川 県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

発行責任者 後藤 真一 編集責任者 村松 勝

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

神奈川県勤労者山岳連盟常任理事会 議事録

7月1日(火) 19:30~21:45 県連事務所にて

出席者

後藤、中山、磯部、田村、三上、大用、蝦名、増田、高橋、村松

事故一報

4月28日 相模AC ストーマジックで3m転落足骨折

6月14日(土)横浜HC 無届け山行 大倉尾根病死くも膜下出血

全国自然保護集会について(後藤)

第一次要綱作成 基調講演 西岡先生

会計試算

京都開催時の資料を配布(中山)

予稿集を作りたい。当日配布とすれば郵送料がかからない。(中山)

分科会は1担当を神奈川、その他は全国連盟から地方連盟に依頼

神奈川の自然保護団体に協力要請(自然保護委員会)

神奈川担当分科会 自然保護委員会

予稿集を作成する方向

ハイキング委員会報告(増田)

6月15日 ビバーク訓練 鎌倉アルプス 雨で中止

自然保護委員会(高橋)

クリーンハイクの報告。水質検査 いつも菌が出ている場所でも出ていない。

報告集を作成。協賛団体、県に配布。

秦野市にあいさつ。大型ゴミの写真と地図を提示。林道は半年に一回。

大倉高原山の家では大腸菌が出ているが、飲めるという看板あり。

水質検査は大腸菌群

財政報告

白嶺岳和会が未収

連盟ニュース(金曜日締め切り)

救助隊(海和)

運営会 クリーンハイク総括、7月5、6日沢の搬出トレーニングについて。

遭対部(田村)

ビバーク講習会 雨のためビバーク体験は中止

鳥越氏が長崎にて講習会を実施(全国遭対部活動)神奈川での登山の基礎講習会の実績を評価された。

中山氏のビーコン講習会に遭対部もバックアップする。

講師に出川氏を養成(中山)

事故報告 横浜ハイキングクラブ(くも膜下出血で死亡)、相模AC(ストーンマジックでの転落)

新山岳会加盟要請 山岳素行童人メーグリ家

フリー、沢、アルパインクライミング 代表 後藤理事長

神奈川労山の技術や知識、団体運営のノウハウの継承について(中山)

理事会のお知らせ(村松)

9月21日(日) 13:00~17:00 川崎市総合自治会館(予定)



夏山を楽しむための注意文 2008！

県連遭難対策部

皆さん、夏に向けてどのような計画を立てられていますでしょうか？

昨今の大地震や大雨などの影響で様子が変わってしまった山もあるようです。残雪も場所により様々。とにかく、最新かつ正確な情報の入手が一番重要なように思われます。毎年の繰り返しになりますが、過去の経験や記録を鵜呑みにせず、最新の情報を入手することを心がけましょう。最近ではネットで簡単に調べられます。

夏山天気予報（携帯サイトもあり）

<http://tenki.jp/climb/index.html>

神奈川県警 登山を楽しく安全に 山岳遭難防止

<http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm>

長野県警察 山岳遭難救助隊トップページ ～山岳情報～

<http://www.pref.nagano.jp/police/sangaku/sangaku.htm>

山梨県警察 山岳情報 山小屋開設状況・山系別交通状況・山系別危険箇所

<http://www.pref.yamanashi.jp/police/sangaku/yama.htm>

岐阜県警察 北アルプス情報

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s18885/alps/index.htm>

富山県警察 登山

http://police.pref.toyama.jp/cms_cat_police/108020/

その他にもここ数年の傾向として、

- ・寒気の発生が多く、一週間の天気予報が信用できない。また雷の発生も多い。
- ・落石、崩落事故が多い。
- ・動物に襲われる事故が多い。また丹沢ではヒルによる被害も多い。

ように思われます。

また、熱中症ほか、心筋梗塞や脳卒中などで山行中に突然死される人が増えています。これを防ぐにはマメに水分+塩分を取るよう心がけてください（粉を溶かしたスポーツドリンクが理想）。また、山行前からの体調管理も重要です。突然死を起こす要因ワースト3は「過労」、「睡眠不足」、「飲酒」とのことですので、山行中はもちろん、山行前から気をつけましょう。



2008年度雪崩ビーコン机上及び野外実習の要項

2008.6.2 中山 建生

2008年度の雪崩ビーコンの学習及び野外実習に関して以下のように取り組みたいと考えます。

最近起きた事故からの教訓はビーコンを持っていても使えない(早く探せない)、また全員が持たないなど雪崩の危険に対する認識が甘く、このことは雪崩の危険を察知することも出来ないという現実を示すものです。雪山に入る登山や滑走には雪崩の危険が常に付きまといま

す。学習の本来の目的は雪崩の危険を予知して回避する=つまり事故を起こさないことです。

しかし、現実には事故は起きうるものと考えて、万一の備えが必要です。備えとはビーコン、ショベル、プロップを所持し、これによる訓練をしておくことです。仲間が埋まったら5分以内に捜し出して、呼吸のできるようにすることです。条件が悪ければ生きている仲間の命を守ることに専念しなくてははいけません。ではどうするのでしょうか。

ビーコンに関しては電波の特徴、ビーコンの機能を理解しなくては使えません。ひとりを探せるようになったら2人、3人が埋まった場合の練習をしましょう。それも1人で探すとき、2人で探すときは違ってきます。視界がある場合、現場が曲がっていて見えないとき、けがをして動きが悪いとき、こんな場合には捜索救助は至難のことになります。しかるにこれが現実です。ビーコンの練習を適当にやっけては現場で使えないというのはこうしたことを予想して訓練をしていないからです。すべてが好条件でやっと5分で見つかった。だからできると錯覚していませんか。

(1) 8月7日(木) 19時より 神奈川県民サポートセンター710号室

上級、指導者層を対象とした講習です。(3)の野外実習で指導体験をすることとセットで考えます。県連盟会員の中から将来の指導者を育てたいと考えます。(実施要項、申し込みは後述)

(2) 9月19日(金) 19時より 神奈川県民サポートセンター402号室

一般対象者、参加者への(3)の事前に行う机上学習です。

(3) 9月23日(火) 9時より 県立四季の森公園 (中山駅下車10分)

登山者だけでなくスノーボーダーの体験学習の機会でもあります。ボーダーの指導員を呼んで実際に指導体験をします。複数捜索ができるまで訓練をします。

(4) 12月20日(土) 雪の中でのビーコン実習 谷川岳天神平

谷川岳で実際の訓練です。21日から23日は雪崩判断、積雪断面観察を行なう予定ですがビーコン実習とは別企画とします。不明な点は中山まで問い合せてください。

8月7日(木) 第一回講習の実施要項

雪崩ビーコンは埋没者の早期発見に役立ちます。しかし、数回の練習ではなかなかビーコンを使いきれず、またメンバーに対して適切な指導も出来ません。これを放置すればビーコンは持っていたが使えずに仲間を発見できなかったという深刻な事態に直面します。八甲田、八幡平、十勝などの事故の教訓から私たちは学ぶべきと考えます。

そこで連盟主催のビーコン実習に向けてアシストないしは指導員の補助を務め、指導する機会を生かしたいと考えます。そのための机上講習会を以下の日程で開催します。各会からの参加を求めます。

日 時 8月7日(木)午後7時より 神奈川県民サポートセンター 710号室

参加申込 8月2日まで 資料送付と事前学習のため資料代として300円徴収します。
締め切り：7月31日 事前にテキストを送付します

内 容 雪崩ビーコンの各種と機能
いわゆるデジタル式(複数アンテナ装備)とアナログ式の違い
電波の特性
搜索の練習法
プローブ、ショベルとの連携
指導の要点

雪崩ビーコン指導者養成のための机上学習

氏 名	ビーコン訓練の経験	有り	なし
	ビーコンの有無	借り出し希望	

住 所

講習に際しての希望

申込(メール)：上記の内容を記載してkanagawa_soutai@yahoo.co.jpまでお送りくださるか、お近くの県連遭難対策部員にお願いします。お問い合わせも同じです。

講師：出川あずさ氏の紹介

特定非営利活動法人日本雪崩ネットワークの代表

日本の雪崩教育に一石を投ずる。カナダ雪崩協会の講師を招いて国際的なレベルで広く普及、山岳での雪崩情報の提供など今日的な課題に取り組む。最近のネットワークの活動の一つとして「雪崩ハンドブック」の翻訳、発行に尽力、その他多くの海外の情報を提供、書籍の発行などを行い日本の雪崩教育に力を注いでいる。

神奈川・東京・埼玉・千葉の読者の皆さんへ！

登山時報第1回文化講演会

新しい読者を増やすための交流と講演のつどい

登山時報8月号掲載記事を筆者が直接語る。

マカルーへの転進は、どのように決断したのか。登山隊長である筆者の近藤和美さんが誌面をさらに深く、リアルに語る。

参加される読者会員の方々は、読者になっていない登山会員の方々を一人でも多く誘って、登山時報の魅力を伝え、新しい読者を増やしてください。

当面、登山新メディア戦略の特別実証区予定地域で優先的に登山時報文化講演会を実施します。特別実証区予定地域での交流と連帯の強化もはかりましょう。

期日 2008年8月27日(水)午後7時00分～9時00分
会場 登山全国連盟事務所1階会議室(JR総武線飯田橋駅徒歩10分)
講師 近藤 和美 さん (2008全国連盟八千m峰登山隊・隊長)
演目 「世界第5位の難峰マカルーに登頂」
08年8月号 402号 に近藤報告が掲載されています
会費 読者無料。その他300円(登山時報を進呈)
読者の方は、08年8月号 402号 ご持参で会費無料。
事前申込は不要。

主催 全国連盟メディア局
03-3260-6331



『登山の基礎講習会』の案内

2008年7月 神奈川県連・遭難対策部

毎年、充実したテキスト内容とわかりやすい説明で好評の「登山の基礎講習会」を今年も下記の要領で開催します。是非参加してください。

日時

2008年9月27日(土)
場所は選定中です。
決まり次第お知らせします。

対象

登山の初心者、およびもう一度基礎から学びたいと思っている人。
労山会員に限らず一般の方も参加歓迎します。

講習会の内容

2007年度の例です。
今年もこれに準じた内容にする予定です。

- (1) なぜ今「登山の基礎」なのか？
- (2) 自然の中でのリスク管理
- (3) 気象の基礎
- (4) 登山の運動生理学
- (5) 登山に適したウェア
- (6) 登山における姿勢と歩行
- (7) 基本的なロープワーク & シュリングの使い方
- (8) 登山者の日常の健康管理
- (9) 山での通信手段 など

参加費用

労山会員 2,000円、一般 3,000円

申し込み

- * 神奈川県連・遭難対策部 湊
メール: kanagawa_soutai@yahoo.co.jp
または、各会の県連遭対部員に申し込んでいただいてもかまいません。
- * 各会で参加を募っていただくとともに、友人知人にも声をかけてあげてください。



予定お知らせコーナー

第9回ハイキングリーダー学校全国集会のご案内

主催 全国連盟ハイキング委員会

主管 岡山県連

日時 2008年9月13日(土)～15日(月)2泊3日

会場 岡山県真庭市「休暇村蒜山高原」

目的 ハイキングリーダー養成の活動を推進する

参加費 2万円(2泊5食宿泊費・資料・懇親会費)

定員 宿泊受講者50名、定員になり次第締め切ります。

申込連絡先 全国連盟ハイキング委員・小野寺英夫(川崎HC)Tel/Fax045-962-4720

第14回全国登山者自然保護集会

主催 日本勤労者山岳連盟

主管 神奈川県勤労者山岳連盟

日時 2008年11月15日(土)～11月16日(日)

11月15日(土)午後1時開会～11月16日(日)午前12時閉会

会場 秦野市表丹沢野外活動センター(予定)

第2回 神奈川県勤労者山岳連盟クライミングコンペのお知らせ

40周年記念行事として昨年開催したクライミングコンペに引き続き今年もクライミングコンペを開催します。各会の皆様においては、スタッフ、参加者募集などご協力をお願いします。

日時 2008年11月29日～30日

場所 神奈川県山岳スポーツセンター(秦野市大倉)

神奈川県勤労者山岳連盟理事長 後藤真一

事務局長会議報告 6月10日

出席会

川崎勤労者山岳会、川崎ハイキングクラブ、藤沢山の会、小田原ナーゲル山の会、相模アルパインクラブ、みずなら山の会、久良岐ハイキングクラブ、カモの会、雪童山の会、やま++ 以上11会

県連からの報告：

- ・クリーンハイクの報告
- ・ビバーク講習会の案内、雪崩ビーコン実習・講師スタッフ研修会の案内、
- ・全国自然保護集会の協力要請。

活動報告から

- ・相模アルパインクラブ 障害者交流ハイク無事終了。ご協力ありがとうございます。
- ・雪童 三つ峠の山頂広場で食料をデポしていたが、カラスに奪われる。
- ・やま++ 5月の佐渡島は花が素晴らしい。三輪草、カタクリ、白根葵、雪割草

その他

- ・11月の全国自然保護集会には一般参加可能か？常任理事会で確認してみる。

6/1救助隊主催セルフレスキュー講習の受講者レポート

6/1、訓練は3班に分かれて行われ、私は初級班で受講させて頂いた。

私はクライミングや沢登りの経験が殆ど無く、救助訓練への参加も初めての事であったが、講師、アシスタントの方々の親切丁寧かつ熱心で細やかなご指導のお陰で特に気後れする事などなく楽しく充実した時間を過ごす事ができた。

1日と短い時間であったが、その割には多くの事を学ぶ事ができ、また練習の時間を豊富に取って頂いた事で、より自分のものにする事ができたと思う。初回のため、下肢負傷者を背負っての懸垂等、できなかった項目もあったが、次回以降も参加することで、技術を身につけて行きたいと思う。また、まだ参加された事の無い方にも、機会あればぜひ参加して頂きたい。講師の方を始め、学ぼうとする意思のあるもの同士、全員が支えあう素晴らしい講習会だ。

以上、私の所感であるが、私以外の初回メンバーの方々も同様に感じておられ事だと思う。実施した訓練項目について、以下、各個簡単に所感を述べる。

・懸垂中の仮固定

仮固定の技術については、同県連リーダー学校の講習にて、先日学んだばかりで、初めての事ではなかった。その際にはミュールノットによる固定方法を学んだのだが、今回は別の固定方法を教えて頂いた。ケースによる使い分けについて、よく考えられていると感心した。ミュールノットは、折り返したロープを同じくロープの輪の中に通し、解除する際には折り返した側の一端を引いて輪から抜く必要がある。輪が締め付ける強度は、固定対象の重量と共に大きくなる性質がある。レスキューの場面では、ケガ人を背負っての懸垂する事がある。この場合、固定対象の重量は通常の約2倍、解除が難しくなるため、ミュールノットは使わない方が良いとの事。

・登り返し

フリクション・ノットを使った登り返しの技術について学んだ。前傾壁ではなかったため、多少やりにくさを感じる事はあったが、効率よく登り返していくコツをつかめたように思う。レクチャーでは、ハーネス側、足側、共にフリクションノットで説明を受けたが、別途ハーネス側をタイプロックに置き換えた場合についてもご教授頂き、実践した。単に登り返すだけであれば、設置、引き上げ共にタイプロックに歩があるように感じた。足が抜けた場合等に慌ててハーネス側の結び目を握ってしまう様な心

配も無い。ただし、途中で下がりたくなかった場合には難しいと感じた。

・自己脱出

仮固定同様、リーダー学校にて学んだ内容ではあるがその際は時間の都合上、十分な実践を積むことができなかった。今回、一連の流れを2回実践し、また空き時間に立ち木を利用して練習できた事で、そこそこスムーズにこなせるようになった。

・上肢負傷者を伴っての懸垂

2回行い、負傷者役、救助者役をそれぞれ一回ずつこなした。思った以上に難しく、これもまた練習が必要だと感じた。一人で懸垂する場合と異なり、相手とペースを合わせつつ、相手の足場も確認しつつ、バランスを保ちつつ降下せねばならない。普段懸垂を行う際には、片手で山側のロープを保持しているが、上肢負傷役の場合にはこれができずにバランスが取り辛かった。救助者は負傷者のハーネスをしっかり保持しておかねばならない。またデイジーチェーン等で両者のビレイループを接続する際、長さ配分をよく調整する事も重要と感じた。差がすぎると、両者間の距離が遠く不安定になる一方で、差が無さ過ぎても、両者の位置関係が横並びに近づくため、両者が共に安定する下降路の選択に難儀する事となる。

・負傷者の引き上げ 1/3システム

救助用具を用いた1/3システムの構築方法について説明を受け、負傷者の引き上げのみ実際に体験した。それほど力強く引かなくとも楽に引き上げられる事に驚いた。このシステムであれば、体重差があっても問題なく引き上げ可能だと感じた。非常に良く考えられたシステムだ。また、カラピナ、ビレイデバイス、スリングのみでも同様に構築し、引き上げを行ってみたが、同じ1/3システムでも非常に重く感じた。体感的には1/2程度であろうか。ただし、このシステムであっても、プラスチック製の簡易プリーをカラピナに取り付けるだけで大幅に改善した。その効果の割りに、たいした重量でも無いので持っておいても良いと感じた。



ハイキング委員会報告

6/7~8地図読みとビバーク山行

北鎌倉から六国見山、散在が池、天園ハイキングコース、横浜自然観察の森と地図読みをして、ここでビバークする計画でした。目的地ではツエルトの張り方を学び、夜食は非常食、夜は懐中電灯での夜間歩行をおこないました。夕食後東屋へ移動してここでホームレスの体験をしました。眠れない人もいたと思いますが、今後の山行のよい体験になったことでしょう。(加藤) 受講者8名 講師4名

6/19 机上 夏の天気(梅雨、台風、雷と避雷)

天気はどう変化するのか。高気圧、低気圧について、日本に影響を与える気団と季節、台風の発生と進路につて、雷にはどう対処したらよいのかということ、質問を受けながら行ないました。(増田) 受講者9名 講師6名

県連ハイキングリーダー学校養成山行3

横浜自然観察の森ビバーク訓練に参加して

藤沢山の会 佐々木愛子

久しぶりの週末の晴天で、集合場所の北鎌倉の駅はアジサイの観賞だろかホームには人が溢れかえっている。今日の目的は止むを得ず野外でビバークするとの設定での行動。北鎌倉の住宅街の中をバラや紫陽花に見とれながら、六国見山をめざして歩んだ。山頂からは下総・上総・安房・伊豆・武蔵・相模が見渡せたとか! 残念ながら今日は霊峰富士は恥ずかしがってか、霞んでみえない。

台地を少し下り、今泉の団地を抜けて、鎌倉湖(散在ヶ池)へ。崖に岩タバコ(名前は葉の形に由来する)の群生が見られるが、葉っぱばかりで花はこれからといったところ。鎌倉アルプス縦走路に戻り、覚園寺との分岐でこれからの悪路に備えスパッツの装着の仕方を講習。あまりスパッツに縁の無かった受講者もいて、装着したものの、左右反対だったりして、和やかな講習となる。

大平山を過ぎて、時間調整の為、山の歌合唱タイム。保育園の子供たちが不思議そうに通る。時間の時計が逆回りして、何時か聞いたあの歌が蘇る。

関東学院大を見下ろす高台で遠い海まで続く景色を堪能して、目的地の横浜自然観察の森へ。バードウォッチング用の建物からいたち川の源流との池を覗いてみる。カワセミがいるとの事でしたが、双眼

鏡が無いと判別できない。カワニナという貝が蛸の餌で、カワニナが川の中を歩いた跡が在るとの増田講師の話聞いて、源氏ボタルが居ると言う養殖池や川の流れを覗き込んでみる。初めは発見できなかったけれど、慣れてくると川の中の窪んだ筋が見つけられるようになった。

階段を上った所の「ノギクの広場」が今日の目的地。ツエルトを出して、張り方の講習。支えの樹を見つけロープ掛けをする。反対方向のロープは簡単に一巻きして端を何回か巻きつけるだけで固定する事ができた。ペグが無い場合は木の枝や石でのテントを固定。ポールがあれば、よりしっかりしたテントになった。大勢の場合は半分を開放し、雨除けの庇として、中に座る方法等実習。

非常食で夕食を済ませたが、梅雨空のせいかお天気が崩れそうな気配なので、急遽管理棟近くの東屋に移動した。深い森ではないが、足元は暗い。本当に迷って暗い道を歩くのは心細く怖いと思えた。移動の途中で急に人影が浮いて出て、ドキ。蛸狩りの方でした。誘われて平家蛸を観賞。暗闇に明かりがひとつ二つ。源氏蛸を求めて昼間歩いた道を再度散策しましたが、本格的な蛸狩りはこれからのようでした。

東屋でのビバークは雨の心配は無。新聞紙を敷いて、レジャーシートを被せ薄手のダウンを体の下に敷いて、シュラフカバーに入って寝付きましたが、夜半になると下の石からの冷気が・・・銀色のレスキューマットを追加して見ましたが、これがガサゴソと音が気になります。いつもの布団が恋しい。寒さを感じつつ、慣れない一晩を過しました。

翌朝、頂いた心尽くしの暖かい汁は美味でした。講師の皆様お世話になりました。



ビバーク講習会報告

実施日 2008年6月21日(土) 9時~15時
 場所 秦野戸川パークセンター
 主任講師 田村(相模AC)
 スタッフ 森(川崎労山)、湊、末吉(みずなら山の会)
 参加者 横浜HC1、相模AC3、カモお試し1、一般2
 (遭対部) 佐藤(カモ)、森田(ACY)
 (天候 雨のため、ビバーク実技は中止、机上のみ実施)

降ったり止んだり、午後からは雨脚も強まる予報で、残念ながら実技は中止となった。

雲行きを見、降らないうちに、屋外実習・ツェルトの張り方を先にやってみよう。

ザックに持ち歩いていても、ツェルトをまだ張ったことがない人も多く、実際に開いてみてどう使えるかを体験してもらおう。細引きやシュリングがあると木やストックを利用して張ることができる。無くてもただかぶるだけでも風を防いで、保温効果が得られる。持っているものでいかに身を護るかなど実習してもらった。

会議室に戻ってからは、テキストをもとに机上学習。自然を相手にした登山は、地形・気象面などともすれば事故と隣り合わせの特殊性を持っている。安全な登山をするために、いかに危険を回避するか、普段からその対処法を学ぶしておくことが大切だ。

以下テキストの項目からテーマを抜粋して紹介すると、

なぜ、ビバーク講習か？

山でトラブルや事故が起きる原因と対処法

登山事故を減らすために

トラブルや事故が起きてしまったら

「後遺症なき早期社会復帰」のために

夜間歩行が必要な場合

ビバーク

登山用具以外のアイテム、登山用具の目的外活用方法など

生きて帰るために(サバイバル)

参考文献紹介

事件事例紹介



参加者は学習意欲が高く、遭対部としても刺激になった。

どこかでビバーク体験をとの声に、出来たら応えたいという思いが残った。

(末吉 記)

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計42名(男 女)平均 歳

6/1 御前山	6/15 西丹沢 檜洞丸	7/6 三ツ峠	7/20 三ツ峠
6/1 三ツ峠・岩ゲレンデ	6/28 奥多摩・蕎麦粒山	7/13 奥多摩・鷹の巣谷(沢)	7/20-21 富士山
6/8 読図・奥多摩堂所山	6/28 湘南鷹取山	7/12-13 三ツ峠	7/26-27 錫杖岳
6/15 谷川・烏帽子中央	6/29 定期総会		

横浜ハイキングクラブ

報告 = 真子和美 計62名(男23:女39)平均59歳

5/18 障害者と共に楽しむ交流ハイク(5)	6/1 岩登りトレーニング(8)	6/14 高柄山(10)山行予定	7/21-23 伯耆大山
5/25 丹沢・クリーンハイク(2)(一般)	6/11 青木ヶ原樹海ウォーキング(12)	7/13 草津・本白根山	
		7/12-13 会津駒ヶ岳	

藤沢山の会

報告=清水 守 計82名(男37:女45)平均61歳

5/31-6/1 日光・社山(10)	(10)	7/1-5 夕張・雌阿寒岳	ヤ
6/7 岩トレ・広沢寺(10)、	6/22 丹沢トレ(10)	7/3-8 大雪山	8/22-24 夏山合宿・ハケ岳
6/7-8 燧ヶ岳(3)	6/28-29 赤城山(8)	7/12 沢登り・モミソ沢	
6/11 鎌倉(5)	6/29 丹沢・丸尾山(8)	7/27-30 荒川岳	
6/14 伊豆・踊子遊歩道	他 20山行	7/31-8/25 インドヒマラ	

小田原ナーゲル山の会

報告 = 青木義隆 計32名(男19:女13)平均45歳

6/1 勤七ノ沢(5)	6/7 水根沢谷(2)	6/14 高ボッチ・鉢伏山(10+9)	6/28 湯河原幕岩(2+1)
6/6 皇海山(2+1)	6/8 三方分山(4)	6/15 湯河原幕岩(5)	6/28 四阿山(1)
6/7 烏帽子奥壁南稜～の倉岳(2)	6/14 鹿留山と杓子山(4+1)	6/28 赤岳(1)	6/27-29 燧ヶ岳・会津駒ヶ岳(2+1)

久良岐ハイキングクラブ

報告:三上茂 計6名(男4 女2)平均58歳

6/7 室内例会(3)	(4)	7/25-26 富士山	8/13-16 蝶ヶ岳
6/14 甘利山・千頭星山	7/5 室内例会	8/2 室内例会	

相模アルパインクラブ

報告:水村和也 計39名(男27:女12)平均53歳

5/26 大山南稜(2)	6/08 三ツ峠(3)	6/20 百蔵～扇山(2)	6/28-29 鬼石沢・マスキ嵐沢(2)
5/28 堂屋敷沢(2)	6/06-07 一ノ倉沢・中央カンテ(2)	6/21 甲府幕岩(4)	6/28-29 富士山(2)
5/31-6/01 モミソ岩(6)	6/15 畦が丸周辺(リーダー学校)(1)	6/21-22 大倉・戸川(県連)(1)	【 予定 】
6/01 檜洞丸(1)	6/14-15 小川山(3)	6/20-23 屏風岩東壁(1)	7/02 源次郎沢(2)
5/30-6/01 西吾妻山(1)	6/15 戸沢左俣(4)	6/25 日和田山(4)	7/06 御座山(1)
6/07 越沢バットレス(4)	6/14-15 湯川・小川山(4)	6/28 キュー八沢(3)	
6/07 広沢寺(5)		6/28 甲府幕岩(4)	
6/07 広沢寺(1)			

雪重山の会

報告:後藤 亨 計20名(男14 女6)平均43歳

6月28日 丹沢・セドの沢左俣(2)	～雲取山～飛竜～丹波(1)	6月7日 奥多摩・つづら岩(3)
6月28日 富士山・須走口(1)	6月13日～15日 白神(追良瀬川～赤石川)(4)	6月1日 丹沢・大室山(2)
6月28日 奥多摩(奥多摩湖～六ツ石山～鷹ノ巣山～雲取山～奥多摩湖)(1)	6月15日 丹沢(焼山～蛭ヶ岳～塔ノ岳～大倉尾根)(1)	6月1日 丹沢・モミソ岩(県連レスキュー訓練)(1)
6月28日 丹沢・広沢寺弁天岩(2)	6月14日 丹沢(畦ヶ丸～大室山～檜洞丸)(1)	6月1日 丹沢(四町四反ノ沢～天王寺尾根)(2)
6月22日 丹沢(つつじ新道～檜洞丸)(1)	6月13日 丹沢・広沢寺弁天岩(2)	5月31日～1日 小川山(1)
6月22日 丹沢・箱根屋沢(3)	6月7日 御岳ポルダ(2)	
6月15日～16日 雲取山(三峰神社	6月7日 富士山・須走口(1)	



やま++

報告: 柴田勇作 計17名(男11:女5)平均46歳

6/1 四国・剣山(1)	6/28-29 中部・鷲ガ岳~位岳(1+1)	8/2-4 北ア・白馬大池~雪倉岳 ~朝日岳~蓮華温泉
6/11 勉強会・沢登り(11)	7/5-6 北八ヶ岳	8/2-4 南ア・北岳~農鳥岳~奈良田
6/14 沢登り・西丹沢・トチクボ沢(6)	7/8 勉強会・夏山気象	8/13-18 南ア縦走
6/15 沢登り・西丹沢・マスキ嵐沢(8)	7/12-13 沢登り・丹沢	
6/25 例会・百合丘(17)	7/19-21 北ア・拇海新道	
6/28 越後・浅草岳(4)	7/24-28 北ア縦走	
	7/26-28 八ヶ岳縦走	
	7/26-27 上越・火打岳~妙高山	

山ブキの会

報告:青柳 計7名(男:女7) 平均63歳

6/14 鷹取山	6/29-7/4 雲南省ワリトレ キング(海外)	7/19-21 姫神山 早地峰 山	8/16or17 三つ峠
6/16-17 湯の丸高原	7/12 金袋山	8/7-9 北岳	8/22-24 槍ヶ岳
6/28-29 富士山			9/13or14 大菩薩峠

クリーンハイク実行委員会

2008年6月23日(月) 19:30~21:00

出席者 川崎HC(大用) 地平線の会(磯部) 横浜HC(宮原) 久良岐HC(三上) 小田原ナゲル山の会(森谷) 緑星スキーと山の会(北野) やま++(池田) 横浜こぶしの会(田辺) 藤沢山の会(高橋、渡邊、萩原)

- * クリーンハイク時に調査した林道わきの大型ゴミの報告を秦野市に提出
回収したかは不明。回収は定期的にまとめて行っているようです。
- * 今回のように雨天の場合、クリーンハイクを実施するかどうかの判断
各コースは中止だけれど林道を行う・・・各会で決定
 - ・林道が出来てよかった
 - ・雨の場合は中止(林道にあまり沢山人が集まっても良くないのでは)
 - ・延期は難しい(植樹は延期になったが次も雨で中止)
 - ・我々だけでは順延は出来ないので今のスタイルでやってゆくしかない
- * 水質調査の結果報告
 - ・勘七の沢と大倉高原山の家より大腸菌が検出された。
 - ・大倉高原山の水は陽性なのに飲み水としているけれどよいのだろうか。
 - ・1994年からずっと陽性になっている。市に結果を報告したほうが良いのではないか。
 - ・沢から引いているから?(問題です)
 - ・市の小屋だったら市に働きかけたほうが良いのではないか・・・報告書は渡している
- * クリーンハイク感想
 - ・雨でもゴミが拾えた。
 - ・雨でも実施で自由参加・・・殆ど来なかった
 - ・雨でも来てもらえばよかったか。
 - ・今回は事務局が不在だったので無い・・・

事務局を置いたほうがよいのでは

- * 報告書について
 - ・水質調査の方に感想、水場の状況などを書いてもらう
 - ・救助隊の方にもお願いをする
 - ・本部、担当者に感想を書いてもらう
- A3 二つ折り 7月17日に校正
7月28日自然保護委員会で配布するので、クリーンハイク実行委員の方は取りに来てください。打ち上げをします(各自一品持ち寄りです)
- * 登山道整備は再度出来るか・・・県の方針で行うので県の人がいなければ出来ない。
- * 各会のクリーンハイクも県連の共催にしてもらえないだろうか
今年は雨で一般参加は中止になったので参加できなかった人たちが参加することが出来るか・・・
7月28日に返事をする

自然保護委員会 21:00~21:30

全国自然保護委員会 2008年11月15日~16日

秦野丹沢野外活動センター

役員選出(自然保護委員だけでなく各会から数名出してもらう)

自然保護委員の皆様へ

7月に入りそろそろ夏山へと忙しくなるころかと、思いますが、7/17日P.M7時から、県連事務所にクリーンハイク報告集の校正をした後に、11月に行われる全国登山者自然保護集会に神奈川が分科会を1つ担当することになりましたのでテーマは何をするかなど皆で話し合いをしたいのでぜひ、お集まりをお願いします。 大用





登山時報 7月号 目次
 連載 わたし的一名山
 夢が広がる花の山 白馬岳 橋本紀美子 04
 韓国の山旅 石川友好 08
 山の図書館 九州登山情報センター
 重藤秀世 16
 石川岩山元気プラン 宋 重光 18
 新連載 野鳥との出会い
 オオルリ 小枝琢三 福井壽彦 10
 現代岩場事情 備中と下帝釈峡 阪井学 26
 普段着の山玄倉川・石棚付近 鈴木澄雄 03
 労山カレンダー2009年 写真募集 09
 シグナル チベットとエベレストの聖火 斉藤義孝 12
 各地の障害者ハイキング
 若澤伸子 加藤洋男 14
 加盟団体の紹介 ハイキングクラブ
 「カメ2003」 今泉勝次 15
 連載 碧い南の島だより 雨宮 節 20
 山で見かけるミョーな人たち 菊地敏之 21

不思議を発見する山歩き
 御嶽山(3) 小泉武栄 22
 山のゴミは少なくなったか?
 2007年度クリーンハイク集計(下)
 全国自然保護委員会 24
 JWAFクリック 27
 専門委員会活動報告 29
 全国連盟の活動 32
 事務局から 編集後記 34
 インタビュー ひと 草野延孝さん 35
 地元会員特選ミニガイド
 北海道・ニセイカウシュッペ/藤本悦子
 茨城・高鈴山/村田誠 36
 ブックエンド 『毒草を食べてみた』
 村山正三 38
 あらかると 『アース』の教訓 原 真 39
 会報えつらん室 全国一巡版 40
 オススメ山道具 のび~るゴアズボン
 笹原芳樹 42

県連のスケジュール

7月		8月		9月	
1 火	常任理事会	1 金		1 月	常任理事会
2 水		2 土		2 火	
3 木		3 日		3 水	
4 金		4 月	常任理事会	4 木	
5 土		5 火		5 金	
6 日		6 水		6 土	関東ブロック交流会
7 月	遭対部会	7 木	雪崩ビーコンの机上学習	7 日	
8 火	事務局長会議 連盟news発行	8 金		8 月	遭対部会
9 水		9 土		9 火	事務局長会議 連盟news発行
10 木	H Cリーダ学校机上講習	10 日		10 水	
11 金		11 月	遭対部会	11 木	
12 土	登山リーダ養成学校机上講習	12 火	事務局長会議 連盟news発行	12 金	
13 日	登山リーダ養成学校実技講習	13 水		13 土	
14 月		14 木		14 日	
15 火		15 金		15 月	
16 水		16 土		16 火	事務局部会
17 木	事務局部会	17 日	登山リーダ養成学校机上講習	17 水	救助隊定例会
18 金		18 月		18 木	H Cリーダ学校机上講習
19 土		19 火	救助隊定例会	19 金	雪崩ビーコンの机上学習
20 日		20 水		20 土	
21 月		21 木	事務局部会	21 日	理事会
22 火		22 金		22 月	
23 水		23 土	登山リーダ養成学校実技講習	23 火	登山リーダ養成学校机上講習 雪崩ビーコンの実技学習
24 木		24 日	登山リーダ養成学校実技講習 H Cリーダ学校実技講習	24 水	
25 金		25 月	自然保護委員会	25 木	
26 土		26 火		26 金	
27 日		27 水		27 土	登山の基礎講習会 H Cリーダ学校実技講習
28 月	自然保護委員会	28 木		28 日	H Cリーダ学校実技講習
29 火		29 金		29 月	自然保護委員会
30 水		30 土		30 火	
31 木		31 日	H Cリーダ学校実技(予備日)		